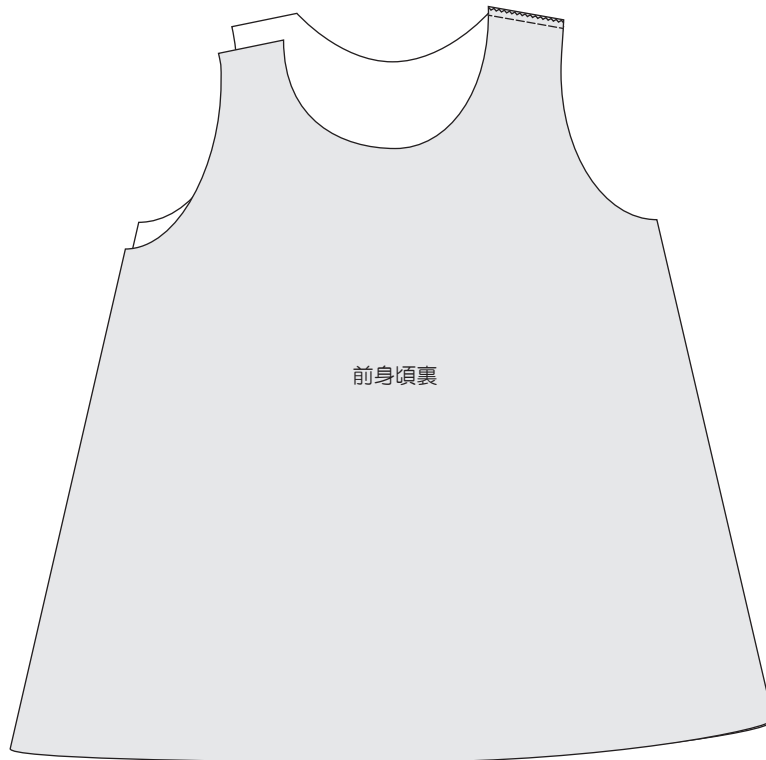


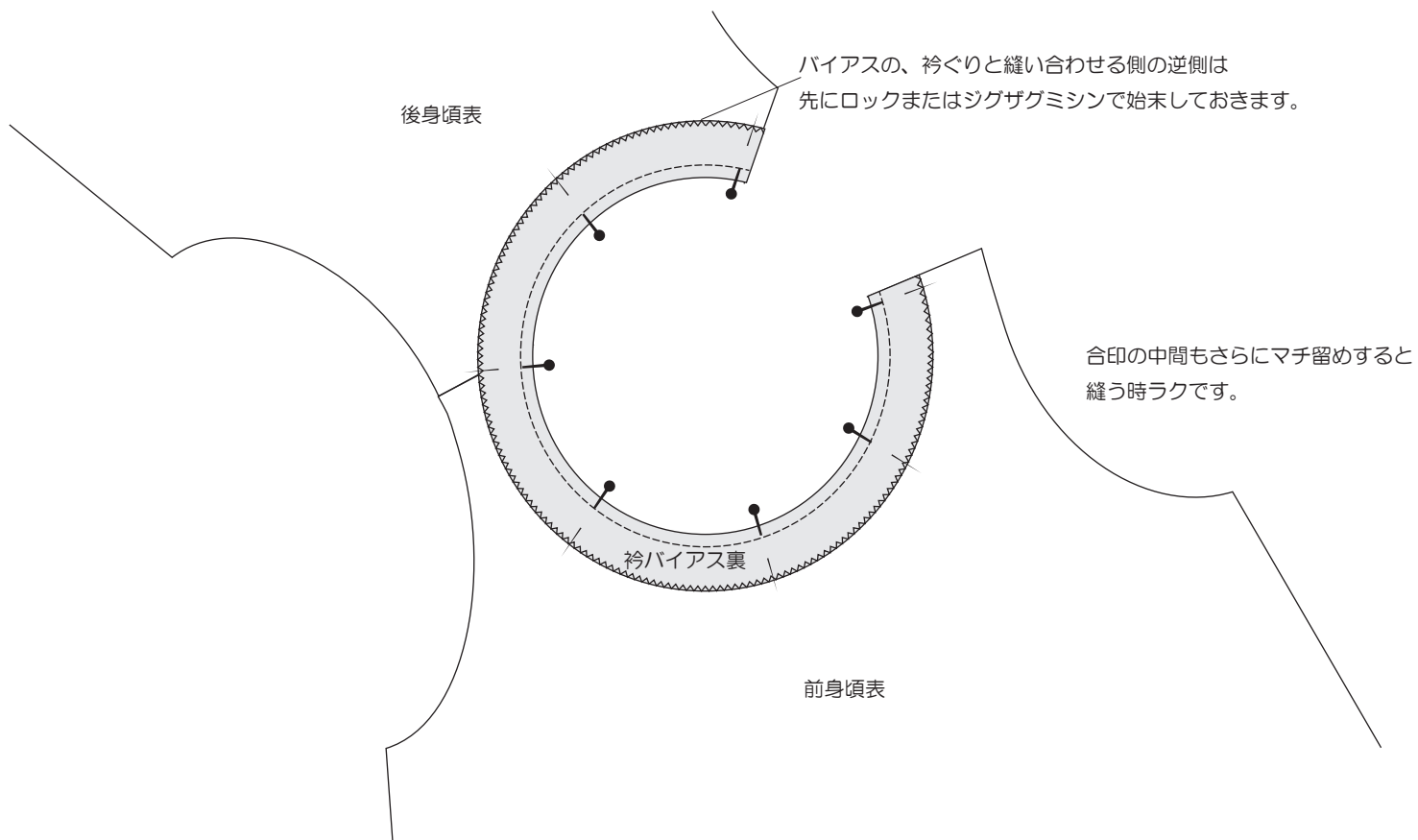
1. 前身頃と後ろ身頃を中表に重ね、右肩を縫い合わせます。

縫い合わせたら生地端を2枚一緒に始末します。  
縫代は後ろ身頃側に倒します。



2. 前身頃とえりバイアスを中表になるように合わせ

左肩合印、前中心合印、右肩合印、後中心合印同士をマチ留めします。



### 3. 見頃と衿バイアスを縫い合わせます。

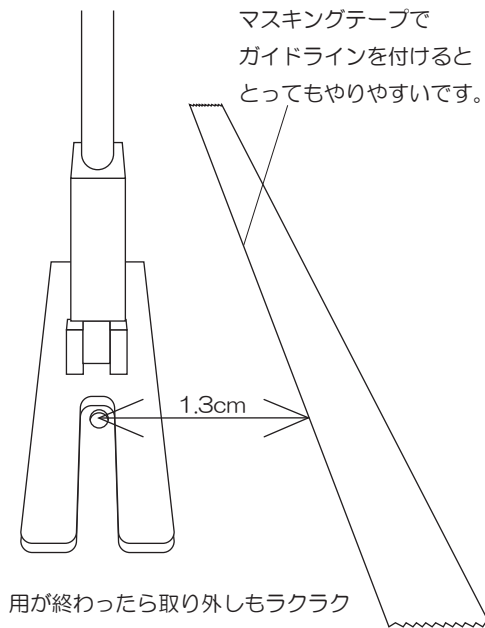
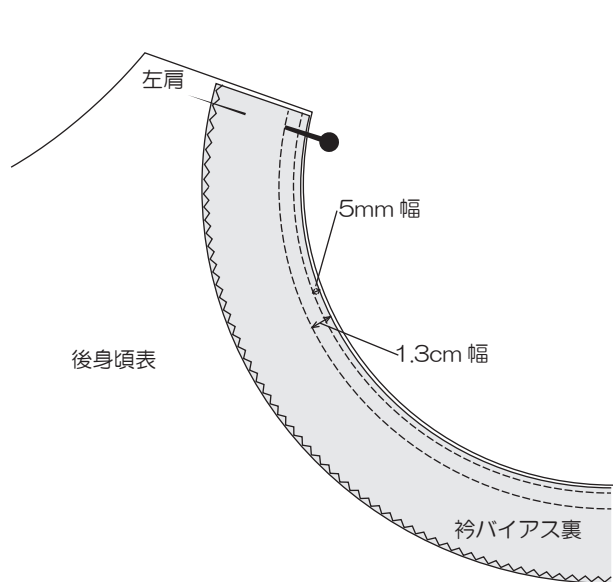
先に生地端から 5mm 幅で縫います。(捨てミシン)

次に生地端から 1.3cm 幅で縫い合わせます。

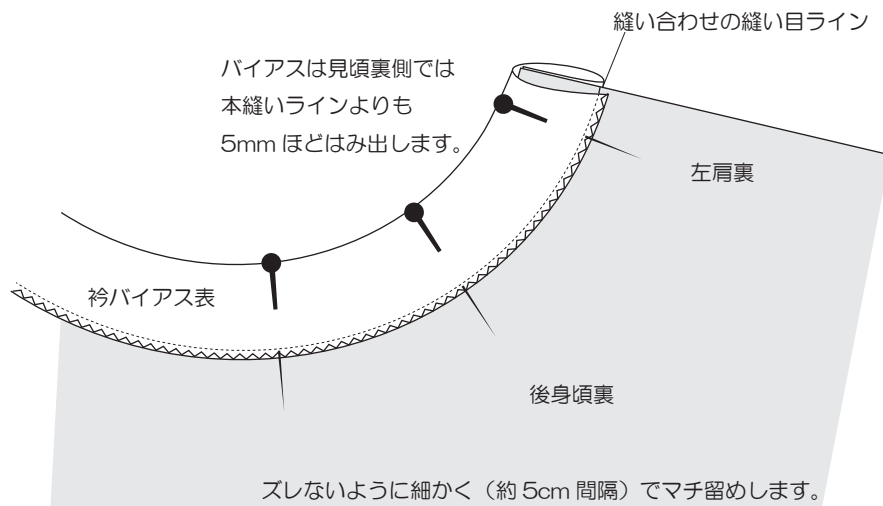
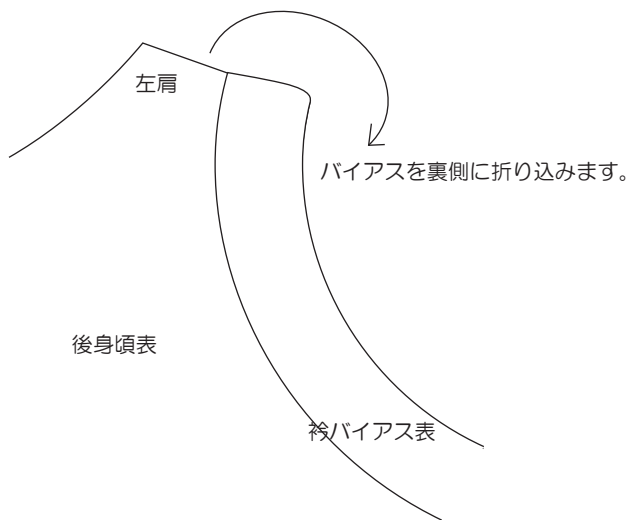
縫う距離が伸びてバイアスが変形したり見頃にシワが寄りやすくなります。

バイアスを伸ばしながら丁寧に縫い合わせて下さい。

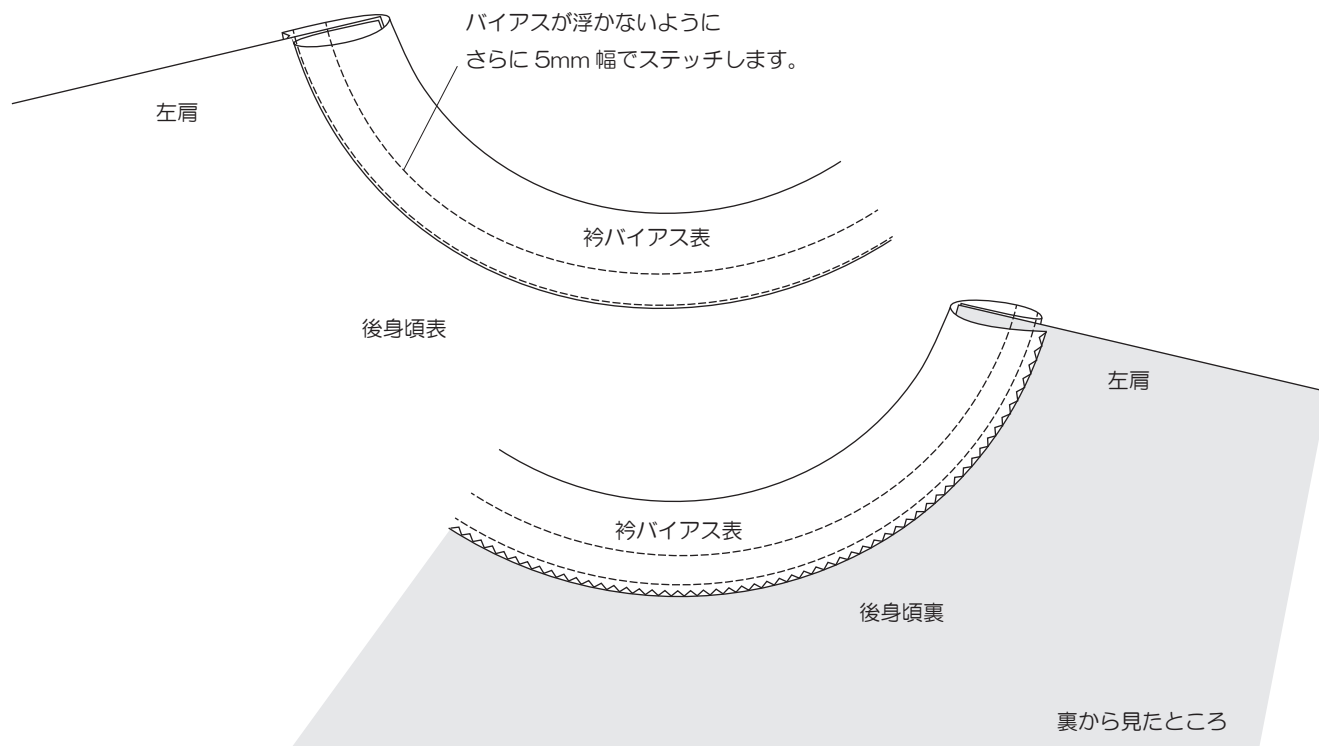
この工程が衿ぐりをきれいに仕上げる一番重要なポイントになります。



### 4. バイアスを裏側に折り込みます。



## 5. 表から、1mm 幅でコバステッチします。

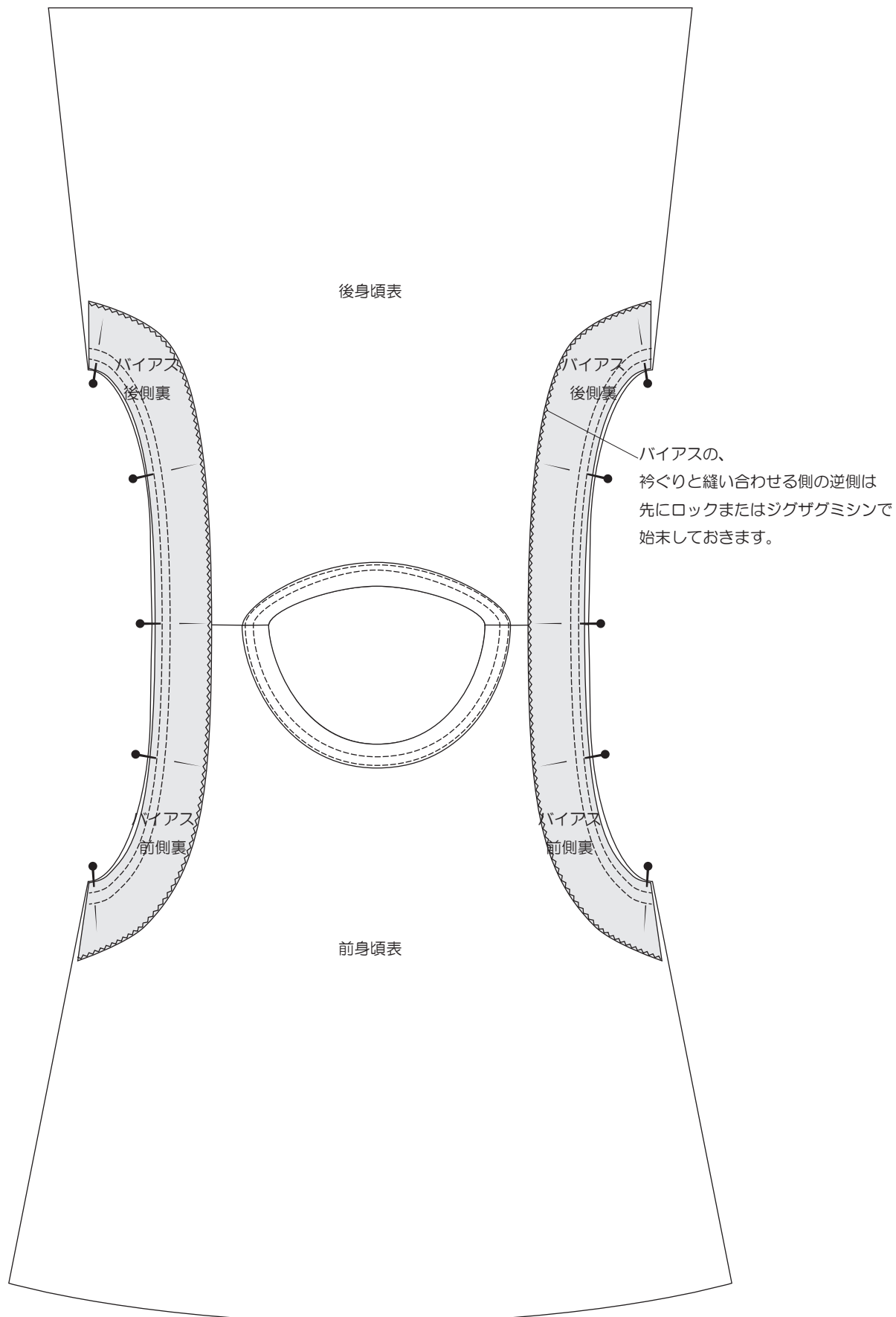


## 6. 左肩同士を縫い合わせて、縫代を後ろ身頃側に倒して留めミシンをします。



## 7. 衿ぐりバイアスと同様に袖ぐりバイアスも縫います。

袖ぐりバイアスは前身頃側の方が短く、一般的な袖ぐりと勝手が違いますのでご注意ください。



8. 前身頃と後ろ身頃を中表になるように重ね、脇同士を縫い合わせます。  
 前身頃の脇ラインはバイアスに近い角度が付いているので伸びやすいです。  
 合印でマチ留めして、ズれないように注意して下さい。



9. 裾を7.5mm幅で三つ折り+7mm幅でステッチして出来上がりです。  
 衿ぐりバイアスが立ち気味の場合はスチームアイロンで整えましょう。

